

つものであった。

貴重な標本を恵与下さった各氏に深謝したい。

(〒110 台東区台東2-29-6)

徳島県剣山でアオナガタマムシを採集

小笠原 隆



1973年7月、徳島県剣山でカミキリムシを採集中に、アオナガタマムシ *Agrilus marcopoli ulmi* Y. KUROSAWA を得たので報告する。

本種は北海道・本州・九州の山地より採集されているが、東京都下奥多摩日原・山梨県小金沢以外の地ではかなり稀な種で、四国における記録は今回が初めてと思われる。

1 ex., 徳島県剣山, 30. VII. 1973,

小笠原隆採集, 藤田宏保管

採集地点は、リフト終点西島駅から尾根道を少し登った標高1750m付近で、樹種不明の枯枝より得られた。

(〒780 高知市西秦泉寺420-19)

紀伊半島で採集された注目すべきタマムシ2種

秋山 黄洋

1. シリグロナカボソタマムシ

Coraeus kiangsuanus nigromaculatus

Y. KUROSAWA

日本産ナカボソタマムシ属の最大の種であるが、現在まで採集された頭数は黒沢良彦博士によれば、タイプ標本を含めてわずか2♂2♀である*)。筆者は幸いにも5頭めである奈良県伯母子岳産の標本を見ることができたので報告しておきたい。

1 ♀, 奈良県伯母子岳, 19. VII. 1971, 松田潔採集

ミズナラのピーティングで得たという。本種の原因は、伯母子岳の続きの護摩ノ壇山で、この付近一帯は深い原生林におおわれ、採集者もほとんど訪れていないようで、今後の調査が楽しみである。

*) 1 ♂, 和歌山県護摩ノ壇山 (holotype); 1 ♂, 新潟県黒川村; 1 ♀, 山梨県 東山梨郡三富村 西沢 (以上, 甲虫ニュース No.10, 1970); 1 ♀, 札幌市円山 (未発表)

2. アカヘリミドリタマムシ

Buprestis (Cypriacis) niponica HOSCHECK

日本産タマムシの中でもっとも美しい種であろうが、福島県湯ノ花温泉を除けば、数ヶ所で各1~2頭が採集されているにすぎない。

1 ♀, 奈良県荒神山, 25. VII. 1972, 松田潔採集

関西地方では原産地の京都に次ぐ記録であろう。採集者の松田氏によれば、峠の茶屋付近において2m位の高さにあったマツの枯枝についていたという。

なお、現在まで採集されたアカヘリミドリタマムシはすべて♀で、♂はまだ採集されたことを聞かない。この種に限らずタマムシ一般に♂が少ないようである。

末筆ながら、快く発表を許された松田潔氏に深く感謝したい。なお、標本は筆者が保管している。

(〒235-02 横浜市磯子区坂下町1-43)

神奈川県城ヶ島の

ルイスナカボソタマムシの記録

藤田 宏

ルイスナカボソタマムシ *Coraeus rusticanus* LEWIS は北海道・本州・四国・九州および伊豆諸島に産する比較的少ない *Coraeus* である。

本種は伊豆諸島においては海岸付近にでも得られるものであるが、それ以外では中山帯に産し、低山帯および平地からの採集例を聞かない。

筆者はここに、まったくの平地であり、かつ海岸であるところの神奈川県三浦市城ヶ島産の標本を所持しているので、大変興味深く思い、報告しておく。

1 ex., 東京羽化脱出, 31. V. 1972, オオバヤシヤブシ村 (三浦市城ヶ島, 25. IV. 1972, 下村徹採集)

末筆ながら、貴重な標本を快く恵与下さった下村徹氏に深謝したい。

(〒110 台東区台東2-29-6)

青森県におけるオオルリハムシの冬期採集例

木附 嘉理

オオルリハムシ *Chrysolina virgata* MOTSCHULSKY f. *obsurofasiata* JACOBY の冬期における採集例があるので報告する。本種は美しいことや日本産ハムシの中では比較的大型であり、また産地により色彩を異にすることで有名であるが、生息環境が水辺であることや比較的少ない種に属することなどから、越冬報告はなかったもようである。

今回採集された個体は、私の手によるものではないため詳しい採集状況はわかりかねるが、水辺の畔のようところでオサ掘りの際に出てきたもので、かなり個体が新鮮なことから、おそらく夏の終わりから秋期にかけて発生したものではないだろうか。

1 ex., 青森県十三湖, 7~12. XI. 1973, 坪井採集

なお、本種は日本海側では山形・新潟・佐渡に採集例があるが、青森県では初めての記録と思われる。